

進路新聞

第7号



発行日：令和6年12月17日

編集&発行：希望が丘高等特別支援学校
進路指導部

◆後期現場実習を終えて

12月9日(月)に後期現場実習報告会(1~2年生)が行われました。現場実習を振り返り、自分の課題やこれから努力したいことを伝えることができました。1年生は、初めての現場実習となるため、『働くことへの興味関心』をもつことが目標でした。実際の職場で実習を行うことにより「働くとはどういうことなのか」を知ることができたと思います。2年生は、3回目の現場実習となりました。これから進路を決定する上で「どんな仕事が向いているのか」「何時間働けそうなのか」など様々なことを考えることができました。3学期には、進路面談が予定されています。生徒たちには、将来の進路についての考えを、自分の言葉で伝えることができるようお願いをしました。今回のことを振り返り、自己選択、自己決定ができるように学校としても全力でサポートしていきたいと考えております。

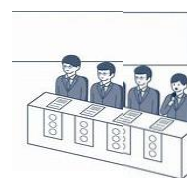


◆特別支援学校就労支援フォーラムの参加

先日、長崎県教育委員会主催で『特別支援学校就労支援フォーラム』が行われました。講演のあと、「多様な職種における障害者雇用の可能性」というパネルディスカッションがあり、本校もパネリストとして参加しました。企業側からは、ニップドーナツ九州株式会社の専務取締役である原則夫様、サカイ引越センターのブロック長補佐である春日翔平様、株式会社リンガーハットの総務人事部部長である田川裕介様の3名が参加をされ、本校を交えた4名でディスカッションを行いました。

ディスカッションの中で、本校からは「卒業までにどのような力をつければいいのか」という質問をしました。企業側からは、以下の回答がありました。

- 「明るく、元気な挨拶ができる人(笑顔があればもっとよい)」
- 「ルールを守る人」
- 「何事も学ぼうとする高い志をもった人(向上心のある人)」
- 「自分の得意なことや苦手なことが分かる人」



生徒たちには、後期現場実習報告会の中で、上記のことを説明して、社会人になるために毎日の学校生活の中で取り組まなければならないことだと伝えました

今回のフォーラムでは、雇用実績のある企業と意見交換をすることで私自身も多くのことを学びました。今後も本校生徒の夢の実現に向けて、企業との連携をより深めていきたいです。